



医療現場での通訳について実践的に学ぶ 「医療通訳セミナー」

【概要】

開催日時:

令和5年11月5日(日)

①「医療通訳について知ろう！」

10:00～13:00

②「英語で医療通訳をやってみよう！」

14:30～17:30

参加者: ①37名 ②22名

会場:

(公財)札幌国際プラザ
札幌市中央区北1条西3丁目
MNビル3階

主催:

(公財)札幌国際プラザ

共催:

札幌市保健所

後援:

(一社)札幌市医師会、
(公社)北海道看護協会、
(福)札幌市社会福祉協議会

11月5日(日)、国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター教授・押味貴之先生をお招きして「医療通訳セミナー」を2講座実施しました。

午前の「医療通訳について知ろう！」では、医療現場での不適切な通訳の例をもとに適切ではない点がどこかグループで話し合い、人権尊重や中立性など、医療通訳者に求められる行動規範について学びました。また、高い語学力だけではなく、国によって異なる医療制度を理解し、文化的な違いなども考慮して適切に仲介することも医療通訳者の大切な役割であることが説明されました。

午後は、「英語で医療通訳をやってみよう！」と題して、外国人ボランティアを模擬患者に見立てて、インフルエンザのワクチン接種や転倒による手の骨折など、3つの場面で通訳練習を行いました。

参加者からは、「実践的に学ぶことができた。」、「学習意欲がわいた。」などの感想が寄せられました。

札幌国際プラザでは、日本語を話さない外国人住民などが安心して医療機関を受診できる環境づくりのため、取り組みを続けていきます。



講師の押味貴之先生



ロールプレイの様子

(公財)札幌国際プラザ 多文化交流部
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階
TEL 011-211-2105 FAX 011-232-3833
多文化交流部ホームページ https://plaza-sapporo.or.jp/citizen_j/